

## 第15章 情報公開・説明責任

### 1 財政公開

財政公開の状況とその内容・方法の適切性（A）
------------------------

#### 【到達目標】

学校法人は、公益性、公共性を有する法人として広く情報公開が求められており、近年法律によって財務情報の公開が義務付けられたところである。本学は、これまでも積極的に財務情報の公開を実施してきたが、その財務内容等が広く正しく理解されるよう表示や説明方法を検討し、適切な情報公開の実施に努めていく。

#### 【現状の説明】

本学の予算、決算並びに重要な事業計画については、平成11年度より、金沢医科大学学報（学内報）を通じて、学生父兄及び教職員並びに大学関係者に対して、情報公開を行っている。

平成17年4月には、「財務情報公開取扱要領」を定め、財務情報の閲覧希望者に対する公開方法を制度化したほか、同年から学報で公開した内容をインターネット・ホームページにも掲載し、広く一般に財務情報の公開を実施した。その内容は、消費収支計算書、資金収支計算書及び貸借対照表の大科目又は中科目による計算書を明示し、主要科目及び重要事項、事業計画並びに結果報告について詳細な説明、解説を付したものである。

平成18年6月には、平成17年度の計算書類、財産目録、事業報告書及び監事の監査報告書をインターネット・ホームページ上に掲載することにより、広く一般に財務情報を公開し、公益性を有する学校法人としての理解と支持を得るための努力を行っている。

#### 【点検・評価並びに長所と問題点】

平成17年度には財務情報の公開に積極的に取り組み、関係規程も整備した。しかし、財政に関する情報公開の内容については一部難解な表現もあり、現在の公開内容だけでは現状や経営方針が十分に伝わらない面もあるので、時系列の分析、解説を付した表示など、関係者の理解を得られる工夫が必要と思われる。

#### 【将来の改善・改革に向けた方策】

今後の財政公開については、本学の経営方針、財政状況及び財産内容の開示について、関係者の理解がより一層深められるよう表現上の工夫を行うとともに、説明会の開催や財政年報の発行等により、信頼性と関心を高める努力を行っていく方針である。

### 2 自己点検・評価

自己点検・評価結果の学内外への発信状況とその適切性（A）
------------------------------

外部評価結果の学内外への発信状況とその適切性（B）
---------------------------

#### 【到達目標】

自己点検・評価結果及び外部評価結果を踏まえ、本学の現状と改善・改革の状況、将来計画などを積極的に公開し、社会に対する説明責任を果たす。

#### **【現状の説明】【点検・評価並びに長所と問題点】**

平成12年9月に、「第20回国内医科大学視察と討論の会」を本学の当番校で開催したが、これを機に、点検評価規程に定める評価運営委員会において、「金沢医科大学点検評価報告書2000」を作成し、学内外へ公表・配布した。

この報告書は、形式的、総論的ではあるが、大学の全体像が把握できるよう整理、編集されたものである。この報告書の編集にあたっては、近い将来、大学基準協会の大学評価を受ける準備段階として同協会が定める点検評価項目にできるだけ準拠してとりまとめられた。

その後、大学基準協会の平成14年度「加盟判定審査」を受審し、平成15年4月1日付けで正会員の承認を受けている。

この加盟判定審査を受審する際に実施した自己点検・評価に基づく報告書（申請書類）及び審査結果、指摘事項などを全て含んだ「金沢医科大学点検・評価報告書2002年度」を平成15年10月に発刊し、学内外へ公表・配布した。また、本学のホームページ上にもその概要を掲載し、インターネットやイントラネットからも閲覧可能となった。

#### **【将来の改善・改革に向けた方策】**

急速に普及するインターネットを一層活用し、本学のホームページをさらに充実させ、情報提供のシステムを構築・整備する。今後も本学の現状や改善・改革の状況、将来計画などを積極的に公開し、社会に対する説明責任を果たせるよう努めていく。